

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度

令和2年度

1 基本情報

公の施設名	相模川ふれあい科学館 アクアリウムさがみはら(相模原市立相模川ふれあい科学館)
指定管理者名	株式会社江ノ島マリンコーポレーション
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設設置条例	相模原市立相模川ふれあい科学館条例
施設の設置目的	相模川に生息する魚類その他の相模川に関する資料を展示し、及び相模川に対する理解を深める場を市民に提供することにより、相模川の自然に親しみ、自然を守り育てる心を育み、もって豊かな市民文化の向上に寄与するため
施設概要	開館日 昭和62年11月15日(リニューアルオープン 平成26年3月26日) 所在地 相模原市中央区水郷田名1-5-1 敷地面積 15,722㎡ 延床面積 1,711㎡(展示スペース743㎡)
施設所管課	環境経済局 環境共生部 水みどり環境課

2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	211,746	218,518	204,123	121,864			
利用料金合計(円)	34,389,260	36,924,710	35,682,320	24,923,020			

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
A	<ul style="list-style-type: none"> 年間利用者数については、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う年間4ヶ月以上の臨時休館の影響が、達成度の大きな減要因となった。 評価基準に基づき、評価を行うと「C」となるが、実際に開館していた期間に応じた目標値と実績値を比較するのが妥当であるとの委員会意見を踏まえ、下記の通り評価することとした。 【開館日数に応じた目標値*】121,611人 【実績値】121,864人 【達成度】100.2% 【評価】A *季節間のばらつきを考慮し、目標値を設定した。 入館制限等がある中で、開館日数に応じた目標値を達成できたことは高く評価できる。 施設利用者満足度については、利用者満足度調査を実施し、「大満足」と「満足」の合計が目標である90%を超えた。

指標1

指標名(単位)	年間利用人数(人)
指標式と指標の説明	年間利用者数の目標である17万5千人を指標とする。

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(人)	140,000	140,000	175,000	175,000 (121,611)			
実績値(人)	211,746	218,518	204,123	121,864			
達成度(%)	151.2%	156.1%	116.6%	100.2%			

指標 2							
指標名 (単位)	施設利用者満足度 (%)						
指標式と指標の説明	施設利用者満足度調査による満足度を指標とする。利用者満足度を5段階で評価し、「大満足」と「満足」の合計が90%に達することを指標とする。						
項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	90.0	90.0	90.0	90.0			
実績値 (%)	94.4	95.7	95.3	95.0			
達成度 (%)	104.9%	106.3%	105.9%	105.6%			

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者を飽きさせないために、楽しく体験して学べる多彩なプログラムを実施し、利用者に広く親しまれていた。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、解説イベント等の実施が制限がされる中、地域活性化事業補助金を活用し、新たな事業を実施するなど、新規利用者及びリピーターの確保に努めた。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
特別企画展(年4回以上)	通年	特別企画展(「ねずみ展」、「くつつく展」、「ふぐ展」)を実施 ※年4回以上としているが、臨時休館による実施期間を考慮した結果、「ふぐ展」の期間を延長	◎

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
(なし)			

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
体験学習教室	通年	・7個の有料プログラム(参加者数:10,608人)、4個の無料プログラム(参加者数:2,354人)を実施 ・ふれあい田んぼやフィールド体験等の館外プログラムを実施	◎
餌付け体験	通年	魚とのふれあいを体験するイベントとして「おさかなトレーナーになろう(餌付け体験)」を実施し、51,367個(総入館者数の42%)が購入された。	◎
施設利用者に対するオリジナルグッズ等配布事業(指定管理者制度導入施設地域活性化事業補助金)	12/15~1/12	対象者の施設利用に際して「さがみん」を利用したエコバック等の配布を行った。 配布実績:中学生以下3,610人	◎
新規解説イベント「水辺の鳥解説ガイド」事業(指定管理者制度導入施設地域活性化事業補助金)	12/23~1/31 (臨時休館に伴い 解説開始は3/22 ~)	神奈川県自然環境保全センターに保護されている鳥類(トビ)を譲り受け、屋外の敷地内に新設した飼育ケージにて飼育を開始した。 内容:ハンドリング馴致した鳥類を用いて、生体や身体の構造などの解説を行う。	◎
新規常設展示「川原の石」事業(指定管理者制度導入施設地域活性化事業補助金)	12/23~1/31 (臨時休館に伴い 展示開始は3/22 ~)	新規常設展示「川原の石」を設置した。 内容:相模川の石7種類をハンズオン展示し、石の成り立ちや特徴を解説した。また、オリジナル下敷きを製作し、小中学生の施設利用に際して配布を行った。	◎
新規常設水槽「水生昆虫水槽」事業(指定管理者制度導入施設地域活性化事業補助金)	12/23~1/31 (臨時休館に伴い 展示開始は3/22 ~)	新規常設水槽「水生昆虫水槽」を設置した。 内容:水生昆虫5種類の生態を紹介	◎

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度調査を実施し、目標である90%を超えた。 ・利用者満足度調査において、再来館希望が8割を超えており、高い評価を得ている。 ・評価基準に従うとA評価となるが、非常に高い目標を設定していること、コロナ禍における利用制限がある中、目標を達成していることから、実質的にはS評価に値する。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	施設利用者満足度調査を年2回実施 【上期】 時期: 令和2年9月23日～9月27日 有効回答数: 202件 【下期】 時期: 令和3年3月25日～28日 有効回答数: 201件
目標値の基準	利用満足度の設問に対する「大満足」と「満足」の合計の割合

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	90.0	90.0	90.0	90.0			
実績値（%）	94.4	95.7	95.3	95.0			
達成度（%）	104.9%	106.3%	105.9%	105.6%			

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
意見箱	通年	施設入口の受付カウンターに意見箱を常時設置し、来館者からの意見要望等を随時受け付けている。受け付けた内容については、職員間で共有を図り、対応に努めている。

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	経営状況に特段の課題はなく、施設の収支状況は全体収支、自主事業収支ともに黒字となっていることから、S評価とする。

施設の収支概要

※直近3年間について記載

(千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
収入（a）	121,339	121,375	149,841
指定管理料	84,414	85,693	85,621
利用料金収入	36,925	35,682	24,923
その他の収入	0	0	39,297
支出（b）	129,684	136,638	127,796
人件費	60,421	70,125	65,164
本社管理経費	0	0	0
その他の支出	69,263	66,513	62,632
本体事業収支 【(a)-(b)】(c)	-8,345	-15,263	22,045
自主事業収入（d）	48,377	45,414	37,888
自主事業支出（e）	16,239	16,845	18,702
自主事業収支 【(d)-(e)】(f)	32,138	28,569	19,186
全体収支 【(c)+(f)】	23,793	13,306	41,231
備考			

団体の財務状況

団体本体の経営状況について特段の問題はない。

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和3年9月

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 指定管理者の自己評価

令和2年度はコロナ禍により、年間4ヶ月以上の臨時休館・外出自粛による客足減少・コロナ対策による入館制限実施の影響を大きく受けた1年間となりました。営業再開した6月には、前年度末に完成した「水上散歩水槽」を紹介すると共にコロナ対策を万全に行い、より良いサービスの提供を行った結果、11月には前年度を上回る入館者数まで回復をすることができました。更に地域活性化事業にも積極的に取り組み、とりわけ3月22日より新規展示として「水生昆虫水槽」と「川原の石」のご紹介し、来館者に高い評価をいただくことができました。併せてホームページを刷新して情報発信力の強化したことも奏功しています。

9 所管課意見

令和2年度は、年度当初から新型コロナウイルス感染症の影響を受け、年間4ヶ月以上の臨時休館や感染症対策による入館制限の実施などにより、年間利用者数は目標値に達しなかったものの、入館制限や解説イベント等が制限される状況のなか、利用者満足度調査において「大満足」と「満足」の合計が目標である90%以上を達成した。

これらは、工夫を凝らした展示や、「水生昆虫水槽」や「川原の石」などの新規事業に取り組み利用者を飽きさせないよう取り組んできた成果であり、利用者の満足度を高めることにつながっていると考える。

また、施設管理においては、入館制限の他にも、手洗い場を非接触型に改修するなどの感染症拡大防止対策を行い、利用者の安全確保に努めており、施設を清潔かつ快適な環境に保つための適切な維持管理が行われている。

引き続き、安心・安全かつ快適で、利用者に広く親しまれる管理運営に努めていただきたい。

10 選考委員会意見

・コロナ禍の中、地域活性化事業補助金を上手に活用し、「水生昆虫水槽」などの新しい展示を行ったことは高く評価できる。

・毎年工夫を凝らしており、何度訪れても楽しめる企画を行っている。

・水生生物の管理が行き届いていて状態が良い。

・利用者満足度は、目標値が非常に高いためにSの評価基準に達しないことから、数値通りの評価ではなく、実質的な値の重みを評価することが重要である。実質的にはS評価に値すると考える。

